



47号 令和5年9月25日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



「銀河」に思いをはせると・・・

先日の音楽朝会で 私が阿賀っ子に話したことは・・・。

今月の歌は「銀河鉄道999」ですが、「銀河」とは？

天を見上げると無数の星たち……。地球や太陽や月も含めて、2千億とも3千億とも言われる星たちの集まり。これが「銀河」。「銀河」の端から端までは、何と10万光年。光が1年間に進む距離の10万倍の距離。1秒間に地球を7周半できる光の速さをもってしても、見当もつかないとてつもない距離。

あまりのスケールの大きさに、日々のいろいろな出来事にくよくよすることが何となくちっぽけなことのように感じられて……。そんな自分を「銀河」が励ましてくれているような気にさえなってきた・・・。

また、輝く星にも寿命があるらしく、いちばん身近な輝く星「太陽」の寿命はあと50億年？ということは、太陽の恵みを受けて成り立っている地球もそのころには確実に亡くなっているということ？つまり、この宇宙でさえいつまでも続くものなど1つもないということ？となれば、地球誕生から46億年。その中で人類の祖先が誕生したのが500万年前。そして、今、自分がここにいる。星に比べれば、ほんのわずかなわずかな歴史にしか過ぎない私たちの命。しかし、確かにここにある命。それは、言わば奇跡の命！そう考えると、奇跡の自分の命をなおさら精一杯生きなければ……。その命を宇宙に向かって輝かせなければ・・・。

音楽朝会の様子

